

2022年度南山大学大学院法務研究科法務専攻〈専門職学位課程〉入学試験
A日程「小論文」 試験問題概要および出題趣旨

〈試験問題概要〉

問題 以下の文章を読み、〔設問1〕および〔設問2〕に答えなさい。

下記出典の文章の一部を引用し、問題文※として出題した。

（出典：三ヶ月章『一法学徒の歩み』（有斐閣、2005）102頁以下「取立屋と愚連隊」（初出：ジュリスト197号（昭和35年）一部改変。）

※問題文は、著作権の関係上非掲載とします。

〔設問1〕 下線部のように筆者が考えている理由をまとめなさい。（400字程度）

〔設問2〕 筆者は、「取立屋がばっこ」している状況を改善するための方策について、二つの点を取り上げて、その改善の方向性を指摘している。では、具体的にどのような改善策が考えられるか。わが国の現在の状況を考えた上で、あなたが考える改善策をその問題点も含めて検討しなさい。（600字程度）

（この問題は、法律学の知識を問うものではありませんので、法令、判例、学説等に言及する必要はありません。）

〈出題趣旨〉

本問は、三ヶ月章『一法学徒の歩み』（有斐閣、2005）102頁以下「取立屋と愚連隊」を読み、設問について検討する中で、受験者の論理的思考力を問うものである。

設問1は、下線のように筆者が考える理由を、本文の中から抽出するものである。

設問2は、筆者が提示している改善の方向性を踏まえて、自身の考える改善策とその問題点を提示することで、論理的思考力と多角的考察力を図るものである。

以上

2022年度南山大学大学院法務研究科法務専攻〈専門職学位課程〉入学試験
B日程「小論文」 試験問題概要および出題趣旨

〈試験問題概要〉

問題 以下の文章を読み、[設問1] および [設問2] に答えなさい。

下記出典の文章の一部を引用し、問題文※として出題した。
(出典：荻部直『移りゆく「教養」』NTT出版、2007年、pp.5-9、一部改変。)

※問題文は、著作権の関係上非掲載とします。

[設問1] 下線部①について、専門家とはどのような存在か。筆者の見解を説明しなさい(300字程度)。

[設問2] 下線部②の問いかけについて、あなたの考えを論じなさい(700字程度)。

(この問題は、法律学の知識を問うものではありませんので、法令、判例、学説等に言及する必要はありません。)

〈出題趣旨〉

法曹という専門職を目指す人々に対し、専門家とはどういう存在かを考えてもらう意図から、荻部直『移りゆく「教養」』(NTT出版、2007年)を題材とした。

設問1は、文章の趣旨に関する理解を問う問題であり、論理の筋道を追う能力と、その理解を明晰に表現する能力とが備わっているかどうかを問うた。

設問2は、文章の趣旨を踏まえて自らの考えを述べる問題であり、客観的かつ論理的に思考を展開する能力と、その結果を明晰に表現する能力とが備わっているかどうかを問うた。

以上

2022年度南山大学大学院法務研究科法務専攻〈専門職学位課程〉入学試験
C日程「小論文」 試験問題概要および出題趣旨

〈試験問題概要〉

問題 次の文章を読み、[設問1] および [設問2] に答えなさい。

下記出典の文章の一部を引用し、問題文※として出題した。

(出典：稲葉振一郎『銀河帝国は必要か?』、ちくまプリマー新書、2019年、26-31頁。なお、出題にあたって、一部改変している。)

※問題文は、著作権の関係上非掲載とします。

[設問1] 下線部(a)「非常に深刻な課題」についてまとめなさい。(400字程度)

[設問2] 筆者が述べる下線部(b)「サブスクリプション」は、個人や社会にとって、利点だけではなく、危険や弊害をもたらすことが考えられます。インターネットを用いた高度な技術発展がもたらす危険や弊害、そして課題に対して、私たちは、どのように規制し、解決すればよいのでしょうか。「サブスクリプション」を例にして、その危険や弊害を分析・指摘した上で、あなたが考える規制案や解決策を検討しなさい。(600字程度)

(この問題は、法律学の知識を問うものではありませんので、法令、判例、学説等に言及する必要はありません。)

〈出題趣旨〉

本問は、稲葉振一郎『銀河帝国は必要か?』(ちくまプリマ新書、2019年、26-31頁)の一部を読ませた上で、以下のような2つの設問を問うことで、受験生の論理的思考力を問うた問題である。

[設問1] では、筆者が述べる「非常に深刻な課題」について、まとめる問題である(400字程度)。問題文の内容を理解し、過不足がない説明を展開しているか、という点に着目しながら評価した。

[設問2] は、インターネットを用いた高度な技術発展は、個人や社会にとって、利点だけではなく、危険や弊害をもたらすことも考えられるところ、筆者が指摘する「サブスクリプション」を例にして、どのような課題があり、それを解決すべきか、受験生が考える規制案や解決策を検討させる問題である(600字程度)。問題文を踏まえた論述と展開、あるいは、問題文では触れられていない論点・視点からの検討なども評価対象にしなが、その提案内容について、論理的で説得力のある文章構成力を評価した。

以上